

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド
(為替ヘッジあり)

R&Iファンド大賞2019
「最優秀ファンド賞」受賞のお知らせ

2019年5月9日



最優秀ファンド賞

投資信託／外国債券円ヘッジ部門

ダイワ世界コーポレート・
ハイブリッド証券ファンド
(為替ヘッジあり)

平素は、『ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび、「R&Iファンド大賞2019」におきまして、当ファンドは外国債券円ヘッジ部門で「最優秀ファンド賞」を受賞いたしました。

このレターでは、当ファンドの運用方針をご案内し、受賞に至るまでの運用の実績をご説明させていただきます。

当ファンド運用担当者からのメッセージ

この度は、このような栄誉ある賞を受賞できたことを大変喜ばしく思うと同時に、ファンドの設定以降、日本の投資家の皆様に良好なリターンを提供できたことを誇りに思っております。

数ある債券資産の中で、コーポレート・ハイブリッド証券は当社が強い確信を持って運用を行う資産クラスの一つです。

今回の受賞は、当該資産の良好なパフォーマンスを示すと同時に、私たちの運用力の高さを証明するものです。この魅力的な資産クラス、そして専門性の高いアナリストと経験豊富な運用者からなる大規模なチームの組み合わせにより、当ファンドはこれからも長年にわたり、良質なリターンを生み出し続けることができると信じております。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。



ヴィアニー・オケ

市場環境

当ファンドは事業会社が発行するコーポレート・ハイブリッド証券に焦点を当てて運用を行っています。コーポレート・ハイブリッド証券は特殊で比較的新しい資産クラスですが、過去数年間、資産クラスの規模は、発行体やセクターの面で拡大を続けてきました。

過去3年間（2016年4月～2019年3月、以下同様）において、コーポレート・ハイブリッド証券市場は長期にわたる力強い上昇と短期的なボラティリティの高まりによる急落局面が入り交じる非常に興味深い相場環境でした。2016年4月に行われたECB（欧州中央銀行）理事会では、ドラギ総裁は欧州の非金融機関が発行する残存期間6カ月から30年までの社債を、長期にわたり購入し続ける計画を発表しました。これらの社債の発行体は当ファンドが投資対象とするコーポレート・ハイブリッド証券の発行体と大部分合致していたため、コーポレート・ハイブリッド証券市場もその恩恵を受けました。その後、こうした良好な市場環境がしばらく継続しました。

2018年はほとんどのリスク資産にとってリターンを得ることが困難な環境でした。クレジット市場についても、年後半にかけて厳しい相場展開となりましたが、この市場の軟調さは、ファンダメンタルズの悪化というよりもむしろ、需給の緩みが影響していたとみています。ハイブリッド証券に関しては、投資適格である発行体の業績は依然として好調さを維持しており、今後も市場の上昇をサポートするものとみています。

2019年に入ると、コーポレート・ハイブリッド証券の新規発行が落ち着き、投資家の買い意欲が高まるにつれ、市場は強い反発の動きを見せ、わずか3カ月で昨年の高値とほぼ同水準のレベルまで回復しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場の推移

（2016年3月31日～2019年3月29日）



※上記指数には、ICE BofAML Global Hybrid Non-Financial Corporate Indexを使用しています。
 ※2016年3月31日を100として指数化しています。

（出所）ブルームバーグを基にアムンディおよび大和投資信託作成

コーポレート・ハイブリッド証券（非投資適格級を含む）の時価総額の推移

(百万米ドル)

(2014年3月31日～2019年3月29日)



※時価総額の算出には、それぞれ以下の指数を使用しています。

投資適格級：ICE BofAML Global Hybrid Non-Financial Corporate Index

非投資適格級：ICE BofAML Global Hybrid Non-Financial High Yield Index

(出所) ブルームバーグを基にアムンディおよび大和投資信託作成

ファンドの運用状況

当ファンドは、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」を通じて、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ってまいりました。

マザーファンドの運用にあたっては、ユーロ建てを中心に事業会社が発行するハイブリッド証券へ投資を行い、ポートフォリオを構築しています。コールの実現性、格付け見通しなどのファンダメンタルズ分析を行い、銘柄の選定を行いました。また、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行いました。

過去3年間において、当ファンドでは不動産セクターへの配分を増加させてきました。これは、クレジット投資家が十分にカバーできていない領域です。市場が成長するにつれて、相対的により魅力的な投資機会が生まれました。また、足元では、昨年末に価格が低迷した米国のインフラ関連企業への配分を増加させています。なお、過去3年間のパフォーマンスを要因別に見ると、主にセクター配分や地域間の配分およびその変更がプラスに貢献しました。

コーポレート・ハイブリッド証券は、債券投資家にとって魅力的な特性を持っています。投資適格級の企業により発行されるハイブリッド証券は、デフォルト（債務不履行）の可能性は極めて低く、回収率こそ異なるものの、シニア投資適格社債と基本的に同じ性質を持っています。また、対象となる証券の格付けが格付会社のS&Pグローバル・レーティングによって付与されている場合、初回コール（繰上償還）を見送ることで当該証券は資本性を喪失することから、発行体には初回コールを行う強い動機があります。

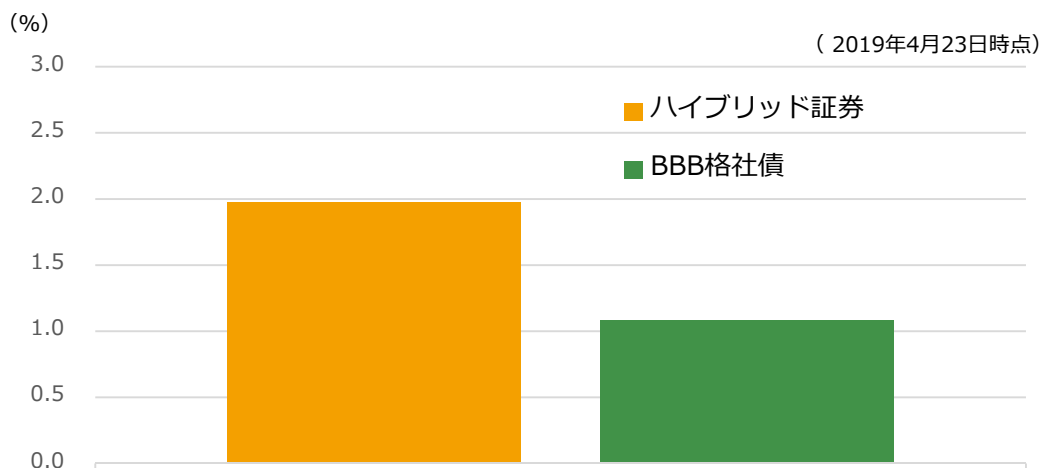
ほとんどの発行体は債権者に対して友好的で、また頻繁に借り換えや新規発行を行うことから、ボラティリティに対する許容度が高い投資家は、同一の企業が発行するシニア社債の代わりに、もっぱらハイブリッド証券に投資することを選択できます。当ファンドは、そうした機会を受益者の皆様に提供しています。

今後の見通しについて

投資適格級の企業により発行され、他の債券と比較して高いキャリーを提供するコーポレート・ハイブリッド証券は、引き続き魅力的な投資対象であるとみています。流動性においても、コーポレート・ハイブリッド証券はハイ・イールド債券よりはるかに優れています。また、会計規則の変更は、発行体によるコールスキップのリスクをさらに限定的とする見通しです。

市場の見通しについては、米国を中心とする中央銀行による緩和方向への政策シフトは、債券資産にとって非常に前向きです。米中貿易摩擦問題に対する懸念のほか、経済見通しには依然として不確実性が残っていますが、中央銀行は当面、現状の緩和的な金融姿勢を維持するとみており、今後もコーポレート・ハイブリッド証券市場を下支えする見込みです。

■ ハイブリッド証券およびBBB格社債の利回り比較（ユーロ建て、為替ヘッジ後）



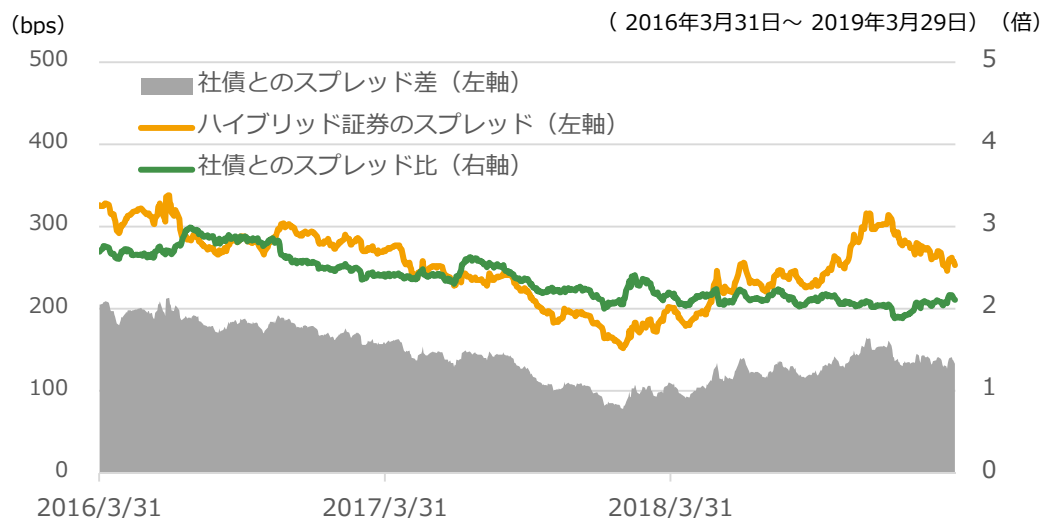
※それぞれ以下の指数を使用しています。ともに投資適格。

ハイブリッド証券：ICE BofAML Global Hybrid Non-Financial Corporate Index

BBB格社債：ICE BofAML BBB Euro Corporate Index

(出所) ブルームバーグを基にアムンディおよび大和投資信託作成

■ ハイブリッド証券および社債の спреッド（国債との利回り格差）比較



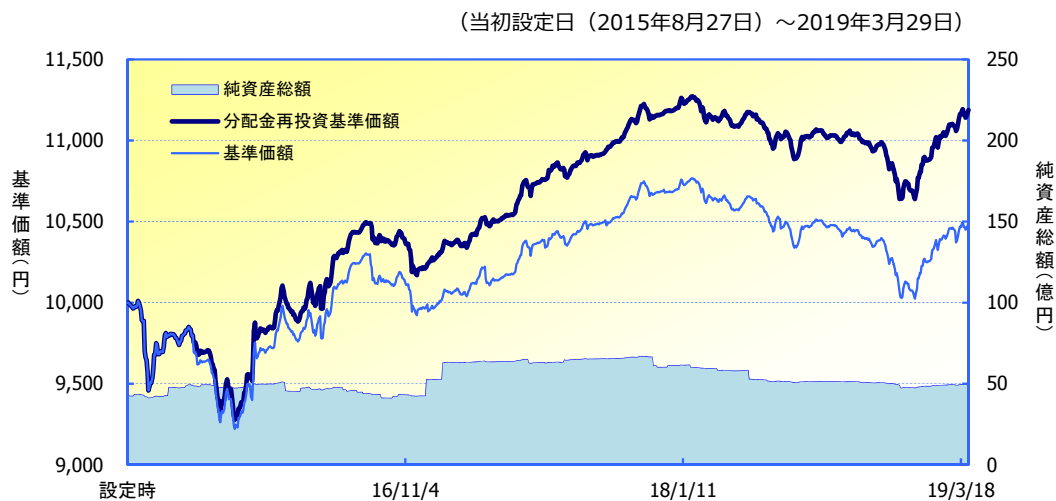
※それぞれ以下の指数を使用しています。ともに投資適格。

ハイブリッド証券：ICE BofAML Global Hybrid Non-Financial Corporate Index

社債：ICE BofAML Euro Non-Financial Index

(出所) ブルームバーグを基にアムンディおよび大和投資信託作成

■ 基準価額・純資産の推移



- ※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
- ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
- ※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

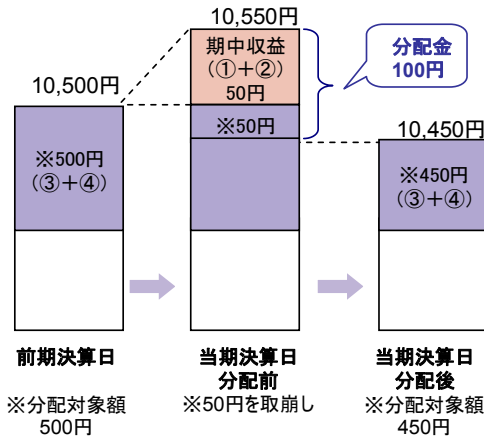
投資信託で分配金が支払われるイメージ



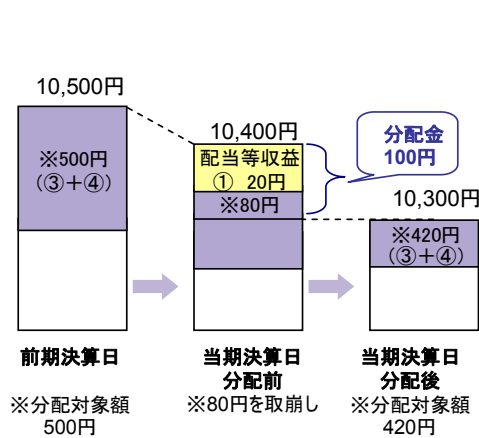
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



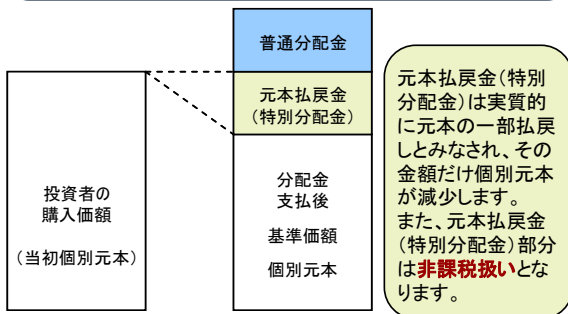
前期決算日から基準価額が下落した場合



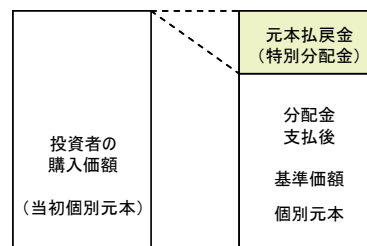
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資します。
 - ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
 - ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクやハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
 2. 運用は、アムンディ・アセットマネジメント（ロンドン支店）が行ないます。
 3. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 4. 毎年3、6、9、12月の各9日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。
 5. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
 - マザーファンドは、「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用 | | |
|---------------------|--|---|
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 購入時手数料 | 販売会社が別に定める率 〈上限〉1.08% (税抜1.0%) | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 | — |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 | | |
| | 料率等 | 費用の内容 |
| 運用管理費用 (信託報酬) | 年率 0.9072% (税抜0.84%) | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。 |
| その他の費用・ 手数料 | (注) | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

R & I ファンド大賞について

「R & I ファンド大賞」は、R & I が信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につき R & I が保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第 299 条第 1 項第 28 号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は R & I に帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。